

事業報告書

3 事業報告書

事業報告書

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）

区 分 項 目		引 受 (加 入)							
		計 画			実 績			達成率	前年度対 比
		引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額		
農作物	水 稻	ha 31,780	円 177	千円 23,091,908	ha 32,205	円 187	千円 24,521,991	% 106.2	% 98.7
	麦	1,060		270,126	902		232,766	86.2	84.2
	計	32,841		23,362,035	33,107		24,754,757	106.0	98.5
果樹	りんご	a 1,039		30,007	a 873		24,426	81.4	81.4
	なし	1,726		85,068	1,544		79,960	94.0	94.0
	計	2,765		115,075	2,417		104,386	90.7	90.7
畑作物	大 豆	ha 4,525	円 236	1,657,762	ha 4,409	227	1,615,740	97.5	91.2
	ばれいしょ	21	43	15,870	20	43	16,210	102.1	89.7
	そ ば	64	157	2,891	78	171	3,507	121.3	111.1
	蚕 繭	箱 0.00	0	0	箱 0.00	0	0	-	-
	計			1,676,523			1,635,458	97.6	91.2
園芸施設		棟 16,962		10,503,755	棟 16,810		11,206,594	106.7	101.2
任意	建 物	棟 95,596	千円 11,738	1,122,058,370	棟 97,309	千円 11,729	1,141,295,140	101.7	97.6
	農機具	台 36,137	2,770	100,084,040	台 36,354	2,862	104,032,410	103.9	104.0
	保管中農産物補償	口 119	1,000	119,000	口 134	1,000	134,000	112.6	112.6
	計			1,222,261,410			1,245,461,550	101.9	98.1

（備考）麦、果樹：引受は令和8年産

端数処理の関係で、計と積上げは必ずしも一致しない（以降同じ）。

区 分 \ 項 目		被 害 又 は 事 故				
		本 年 度		前 年 度		比 較
		被 害 (事故) 数	共 済 金	被 害 (事故) 数	共 済 金	
農 作 物	水 稻	kg 344,715	円 62,334,509	kg 193,412	円 35,086,580	% 177.7
	麦		14,132,095		15,582,378	90.7
	計		76,466,604		50,668,958	150.9
果 樹	りんご	kg 11,407	1,271,760	kg 6,039	312,980	406.3
	なし	6,115	635,890	7,205	568,900	111.8
	計	17,522	1,907,650	13,244	881,880	216.3
畑 作 物	大 豆	kg 380,340	96,156,857	kg 548,250	103,939,612	92.5
	ばれいしょ	17,198	739,514	50,092	2,153,956	34.3
	そ ば	5,073	791,388	6,104	871,486	90.8
	蚕 繭	11	27,720	0	0	—
	計		97,715,479		106,965,054	91.4
園芸施設		棟 795	37,704,470	棟 1,684	84,931,605	44.4
任 意	建 物	棟 560	353,018,907	棟 403	335,047,860	105.4
	農機具	台 374	88,951,641	台 420	91,034,007	97.7
	保管中農産 物補償	kg 0	0	kg 0	0	—
	計		441,970,548		426,081,867	103.7

(備考) 麦、果樹：本年度は令和7年産、畑作物：前年度は令和5年産、本年度は令和6年産

項目 区分			引 受 (加 入)							
			計 画			実 績			達成率	前年度 対 比
			引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額		
家畜	死亡 廃用 共済		頭	千円	千円	頭	千円	千円	%	%
		乳用牛	16,236	198	3,206,175	16,185	191	3,087,837	96.3	90.6
		肉用牛	106,284	451	47,937,323	105,156	440	46,278,357	96.5	93.2
		一般馬	2	729	1,458	2	633	1,265	86.8	97.1
		種 豚	1,902	61	115,084	1,906	69	130,772	113.6	111.2
		肉 豚	13,772	12	165,264	16,995	12	203,940	123.4	78.2
		種雄牛	9	445	4,004	10	487	4,870	121.6	106.8
		計	138,205	372	51,429,308	140,254	354	49,707,041	96.7	93.0
	疾病 傷害 共済	乳用牛	11,231	37	412,526	11,897	40	475,955	115.4	106.6
		肉用牛	42,819	28	1,209,231	43,050	27	1,179,896	97.6	95.2
		一般馬	2	45	90	2	23	45	50.0	100.1
		種 豚	10	6	61	0	0	0	0.0	0.0
		種雄牛	9	53	476	10	39	391	82.1	102.6
		計	54,071	30	1,622,384	54,959	30	1,656,288	102.1	98.3
		計	192,276	276	53,051,692	195,213	263	51,363,329	96.8	93.2
合 計					1,310,970,490			1,334,526,074	101.8	97.5

項 目 区 分			被 害 又 は 事 故				
			本 年 度		前 年 度		比 較
			被 害 (事故) 数	共 済 金	被 害 (事故) 数	共 済 金	
家 畜	死亡 廃用 共済		頭	円	頭	円	%
		乳用牛	955	126, 593, 002	1, 035	131, 718, 475	96. 1
		肉用牛	2, 717	464, 420, 690	3, 242	554, 000, 710	83. 8
		一般馬	0	0	0	0	—
		種 豚	11	552, 800	17	468, 800	117. 9
		肉 豚	121	1, 498, 405	135	2, 254, 024	66. 5
		種雄牛	0	0	1	248, 000	0. 0
		計	3, 804	593, 064, 897	4, 430	688, 690, 009	86. 1
	疾病 傷害 共済		件		件		
		乳用牛	8, 242	137, 181, 784	8, 208	136, 595, 098	100. 4
		肉用牛	31, 042	421, 674, 625	32, 531	443, 557, 872	95. 1
		一般馬	0	0	0	0	—
		種 豚	1	8, 577	1	10, 350	82. 9
		種雄牛	1	11, 808	1	33, 426	35. 3
		計	39, 286	558, 876, 794	40, 741	580, 196, 746	96. 3
	計			1, 151, 941, 691		1, 268, 886, 755	90. 8
合 計			1, 807, 706, 442		1, 938, 416, 119	93. 3	

(1) 農作物共済関係
(引受)

（引受）

年産	共済目的		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額
令和7 年産	水 稲	半 相 殺	人 19,426	a 3,168,360	kg 128,477,388	円 24,085,460,990
		全 相 殺	257	46,967	2,102,108	386,981,119
		地域インデックス	11	5,160	258,088	49,549,124
		計	19,694	3,220,487	130,837,584	24,521,991,233
令和8 年産	麦	半 相 殺	0	0	0	0
		災害収入共済方式	69	90,216		232,766,167
		計	69	90,216	0	232,766,167
延 計 実			19,763	3,310,703	130,837,584	24,754,757,400
			19,005			
令和7 年産	麦	計	82	111,080		276,384,666

年産	共済目的		徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
令和7 年産	水 稲	半 相 殺	円	円	円
		全 相 殺			
		地域インデックス			
		計	94, 054, 368	△ 41, 618, 373	52, 435, 995
令和8 年産	麦	半 相 殺			
		災害収入共済方式			
		計	6, 242, 194	4, 559, 177	10, 801, 371
計			100, 296, 562	△ 37, 059, 196	63, 237, 366
令和7 年産	麦	計	7, 167, 432	5, 234, 007	12, 401, 439

水稻作付面積(子実用)は、前年産に比べ5,200ha増加したほか主食用作付面積は前年産に比べ6,900ha増加した。

収入保険への移行もあり、引受面積は主食用米で171ha増加したものの、飼料用米は1,384ha減少、米粉用米で7ha減少し合計で前年度に対し1,219haの減少となった。統計作付面積に対する面積引受率は47.4%となった。令和8年産麦の引受面積は、収入保険への移行もあり前年度に対し209haの減少となった。令和7年産の統計作付面積に対する面積引受率は34.1%となった。

(被害)

共済目的			被害組合員数	共済金	共済金／ 共済金額
水 稲	令和7 年産		人	円	%
		半 相 殺	404	58,351,244	0.24
		全 相 殺	8	3,983,265	1.03
		地域インデックス	0	0	0.00
		計	412	62,334,509	0.25
麦	令和7 年産	半 相 殺	0	0	0.00
		災害収入共済方式	25	14,132,095	5.11
		計	25	14,132,095	5.11
計			延 437	76,466,604	0.31

(水稻)

令和7年産水稻の生育概況は、育苗がおおむね順調に進んだことから県平均の田植始期は平年並みの5月5日、田植盛期は平年並みの5月12日となった。5月上旬と下旬に平均気温が低く経過した時期もあったが、田植終期以降6月は高温・多照・少雨で経過した。7月も高温・多照・少雨で経過したことから出穂は早く、県平均の出穂始期は7月25日（平年より3日早い）、出穂盛期は7月30日（平年より2日早い）、穂揃期は8月6日（平年より3日早い）となった。

刈取始期は9月14日（平年より5日早い）、刈取盛期9月25日（平年より5日早い）、刈取終期10月10日（平年より4日早い）となった。宮城県の作柄は、10a当たり収量が525kgとなった。

被害状況は、5月中旬から9月下旬にかけての高温・多照・少雨の影響で、一部の圃場で干害が発生し、茎数不足から穂数が減少し減収する被害となった。また、山間地域においては、イノシシ等による獣害が発生し減収した。

(麦)

令和7年産麦の生育概況は、播種時期は降雨も少なく播種作業及び出芽は順調で、初期生育は確保された。1月から2月にかけてまとまった降雨、降雪があったが、全体的には降水量及び日照時間ともに平年並みに推移し、おおむね平年を上回る生育となった。

越冬後の生育は、一部圃場で鳥害が見受けられたが、3月以降高温・少雨で推移したため回復した圃場もあり、出穂期は平年並みか早くなった。6月14日ごろ梅雨入りし、周期的に降雨はあったが、刈取作業はおおむね順調に進んだ。宮城県の作柄は、10a当たり収量が大麦で342kg（前年対比100%）、小麦で446kg（同101%）となった。

被害状況は、4月下旬以降のまとまった降雨及び5月31日の大雨により一部圃場で土壌湿潤害が発生し生育が阻害され、茎数及び穂数の不足により収量の減少や登熟不良による品質低下が発生した。また、一部圃場では、鳥害が発生した。

(支払)

共済目的			支払 月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
水 稲	令和7 年産	半 相 殺	令和7年 12. 10	円 58,351,244						%
		全 相 殺		3,983,265						
		地域インデックス		0						
		計		62,334,509						
麦	令和7 年産	半 相 殺	令和7年 12. 24	0						
		災害収入共済方式		14,132,095						
		計		14,132,095						
計				76,466,604	0	64,837,434	11,629,170	0	0	100

(損害防止)

地域での一斉防除（種もみの温湯消毒、無人ヘリコプター等によるカメムシ防除等）の推進と農作物病害虫適期防除推進圃調査を実施し、防除協議会等関係機関と連携して病害虫防除の適期、適正防除を推進した。

(2) 家畜共済関係
(引受)

項目 区分			有資格 頭 数	事業計画 頭 数	引 受 頭 数	引受頭数/事 業計画頭数	共済金額
死亡 廃用 共済	乳 用 牛	頭 搾乳牛	頭 13, 821	頭 11, 079	頭 10, 950	% 98. 8	円 2, 257, 269, 510
		育成乳牛 (子牛等)	6, 548	5, 157 (456)	5, 235 (422)	101. 5 92. 5	830, 567, 910 (19, 766, 990)
		計	20, 369	16, 236	16, 185	99. 7	3, 087, 837, 420
	肉 用 牛	繁殖用雌牛	25, 324	20, 940	20, 308	97. 0	7, 146, 721, 104
		育成・肥育牛 (子牛等)	96, 798	85, 344 (7, 565)	84, 848 (5, 009)	99. 4 66. 2	39, 131, 636, 275 (522, 931, 935)
		計	122, 122	106, 284	105, 156	98. 9	46, 278, 357, 379
	一 般 馬	繁殖用雌馬	10	2	2	100. 0	1, 264, 800
		育成・肥育馬	4	0	0	0. 0	0
		計	14	2	2	100. 0	1, 264, 800
	種豚		14, 967	1, 902	1, 906	100. 2	130, 772, 000
	肉豚		127, 015	13, 772	16, 995	123. 4	203, 940, 000
	種雄牛		12	9	10	111. 1	4, 869, 600
	種雄馬		0	0	0	0. 0	0
	計		284, 499	138, 205	140, 254	101. 5	49, 707, 041, 199
	疾病 傷害 共済	頭 乳用牛		頭 14, 537	頭 11, 231	頭 11, 897	% 105. 9
肉用牛		55, 704	42, 819	43, 050	100. 5	1, 179, 896, 488	
一般馬		11	2	2	100. 0	44, 950	
種豚		13, 962	10	0	0. 0	0	
種雄牛		12	9	10	111. 1	391, 482	
種雄馬		0	0	0	0. 0	0	
計		84, 226	54, 071	54, 959	101. 6	1, 656, 287, 750	

区分	項目	徴収共済掛金 (円)	交付金又は 納入保険料 (円)	手持共済掛金 (円)
死亡廃用共済		307,319,269	307,193,723	614,512,992
疾病傷害共済		261,670,118	262,114,097	523,784,215
過年度 (期末調整) 含み		10,154,767	1,830,475	11,985,242
合計 (死廃・疾傷)		579,144,154	571,138,295	1,150,282,449

※引受頭数及び共済金額は、期首引受（一般と短期の合計）と期中変更分です。

廃業等による飼養戸数減少が影響し引受戸数は6,476戸（前年比92.3%）となり、引受頭数では195,213頭（前年比96.6%）となった。

共済金額は、引受頭数の減少が影響し51,363,329千円（前年比93.2%）であり前年度より減少となった。

(事故)

項目 区分		死亡廃用共済				疾病傷害共済	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数	支払共済金
乳用牛	搾乳牛	頭 644	頭 150	頭 794	円 120,844,097	件 8,242	円 137,181,784
	育成乳牛 (子牛等)	161 (131)	0 (0)	161 (131)	5,748,905 (2,764,987)		
	計	805	150	955	126,593,002		
肉用牛	繁殖用雌牛	380	120	500	135,781,031	31,042	421,674,625
	育成・肥育牛 (子牛等)	2,075 (1,619)	142 (1)	2,217 (1,620)	328,639,659 (114,873,791)		
	計	2,455	262	2,717	464,420,690		
一般馬	繁殖用雌馬	0	0	0	0	0	0
	育成・肥育馬	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
種豚		11	0	11	552,800	1	8,577
肉豚		121	0	121	1,498,405		
種雄牛		0	0	0	0	1	11,808
種雄馬		0	0	0	0	0	0
計		3,392	412	3,804	593,064,897	39,286	558,876,794

死廃事故頭数は、全体で626頭の減（前年対比85.9％）となった。病類別にみると泌尿器病等増加したものもあったが、循環器病で249頭、消化器病で140頭減少した。また、子牛・胎子の新生子異常では70頭の減少となった。

病傷事故件数は乳用牛が34件増加となったが、肉用子牛で1,290件、肉用成牛で199件減少し、全体としては1,489件減少（前年比 95.4％）となった。病類別では、生殖器病が257件、泌尿器病で77件増加し、その他微増したものもあったが全体的に減少となった。

支払共済金は、死廃事故で593,065千円となり前年度より95,625千円減少（前年比 86.1％）となった。これは、牛の引受頭数が減少していることもあるが、事故件数の減少が大きいと思われる。また、牛伝染性リンパ腫による事故は前年度より1頭増加の151頭で、支払共済金は57,965千円（全体の9.8％）で前年比1,912千円の増となった。

病傷事故は、558,877千円となり前年度より21,320千円減少（前年比 96.3％）した。これについては、牛の引受頭数が減少していることもあるが、1事故当たりの支払金額も減少している。

(損害防止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算 (円)	摘 要
特定損害防止		3,987 頭	35,549,540	
一般損害防止	健康検査	702 頭	0	
	予防衛生措置	6,287 頭	6,214,199	予防注射等
	飼養管理指導	85 頭	0	
	事故防止講話会	16 回	0	
	代謝プロファイルテスト	496 頭	853,120	
	搾乳立会	0 回	0	
超音波繁殖検診		13,545 頭	10,836,000	
計		25,102 頭 16 回	53,452,859	

(家畜診療センター等)

家畜診療 センター等名	職員数	管内頭数			診療件数	
		有資格頭数	死亡廃用 共済引受	疾病傷害 共済引受	共済事故	事故外
	人	頭	頭	頭	件	件
県 南	9	68,835	36,476	8,436	2,977	49
中 央 (古川支所含む)	20	66,918	36,736	19,799	6,702	117
県 北	19	148,746	67,042	26,724	7,044	194
家 畜 診 療 研 修 所	4					
計	52	284,499	140,254	54,959	16,723	360

家畜診療 センター等名	損害防止事業		
	一般	特損	経費概算
	頭	頭	円
県 南	7,986	1,154	16,052,857
中 央 (古川支所含む)	6,017	1,566	21,336,364
県 北	7,128	1,267	16,063,638
家 畜 診 療 研 修 所			
計	21,131	3,987	53,452,859

特定損害防止事業では、前年度よりも実施頭数を増やし、死廃事故発生の低減効果を認めた。

一般損害防止事業では、各種ワクチン接種による個体および牛群の予防衛生措置や超音波画像診断装置を用いた牛群の飼養管理指導を実施した。講習会等も実施し損害防止の啓蒙に努めた。令和7年度家畜共済事故対策協議会においても、前年度に引き続き牛伝染性リンパ腫に対する衛生管理指導を行った。

獣医師の診療技術関係では、各種研修会へ積極的に参加し診療技術向上を図った。疾病予防関連では、事故多発農場における疾病予防対策を継続的に実施し、生産獣医療の取り組みも行った。

(3) 果樹共済関係

(引受)

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
令和7年度 (令和8年産)	りんご	半総相殺減収	人	a	円	円	円	円
		一般	0	0	0	0		
		半総相殺減収	26	873	24,426,000	258,441		
		短縮						
		小計	26	873	24,426,000	258,441		
	なし	半総相殺減収	0	0	0	0		
		一般						
		半総相殺減収	32	1,544	79,960,000	1,538,207		
		短縮						
		小計	32	1,544	79,960,000	1,538,207		
	合計		58	2,417	104,386,000	1,796,648	434,470	2,231,118
令和6年度 (令和7年産)	りんご	半総相殺減収	0	0	0	0	円	円
		一般						
		半総相殺減収	29	1,039	30,007,000	324,802		
		短縮						
		小計	29	1,039	30,007,000	324,802		
	なし	半総相殺減収	0	0	0	0		
		一般						
		半総相殺減収	36	1,726	85,068,000	1,655,275		
		短縮						
		小計	36	1,726	85,068,000	1,655,275		
	合計		65	2,765	115,075,000	1,980,077	488,932	2,469,009

果樹栽培農家の高齢化、後継者不足等から廃園、規模縮小や収入保険への移行により戸数及び引受面積は減少した。

りんごは、前年産に対し引受面積で166a減少、共済金額で5,581千円減少した。

なしは、引受面積で182a減少、共済金額は5,108千円減少した。

有資格面積に対する引受率は、りんごで8.6%、なしで15.6%となった。

参考 農林統計結果樹面積に対する引受率 りんご5.2%(令和6年産りんご167ha)
なし12.0%(令和6年産なし129ha)

(被害) 令和7年産

果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金／ 共済金額
りんご	半相殺減収 総合一般	人	円	%
	半相殺減収 総合短縮	0	0	0.00
	小計	6	1,271,760	4.24
なし	半相殺減収 総合一般	6	1,271,760	4.24
	半相殺減収 総合短縮	0	0	0.00
	小計	3	635,890	0.75
合計		3	635,890	0.75
合計		9	1,907,650	1.66

気象経過については、3月の平均気温は「かなり高いから高い」、降水量は「平年並から少ない」、日照時間は「多いから平年並」。4月の平均気温は「かなり高いから高い」、降水量は「北部は平年並からかなり多い、南部は平年並から多い」、日照時間は「かなり少ないから少ない」。5月の平均気温は「平年並から高い」、降水量は「かなり多い」、日照時間は「平年並から少ない」。6月の平均気温は「かなり高い」、降水量は「かなり少ないから少ない」、日照時間は「かなり多い」。なお、東北南部は6月14日ごろ梅雨入りしたとみられる。7月の平均気温は「かなり高い」、降水量は「かなり少ないから少ない」、日照時間は「かなり多い」。なお、7月18日ごろ梅雨明けしたとみられる。8月の平均気温は「かなり高い」、降水量は「平年並から少ない」、日照時間は「多いから平年並」。9月の平均気温は「かなり高い」、降水量は「北部で多い、南部で平年並」、日照時間は「多い」。10月の平均気温は「高いから平年並」、降水量は「多いから平年並」、日照時間は「少ない」。11月の平均気温は「平年並から高い」、降水量は「北部で平年並から多い、南部で少ない」、日照時間は「かなり多い」。

令和7年産りんごの発芽期、開花期、満開期、落花期は、平年と比べると平年並みから7日程度早くなった。ふじの開花は平年より1日から6日早く、満開期も平年並みから5日程度早かった（宮城県農業・園芸総合研究所）。被害状況については、熊が園内に侵入し、果実を食害する被害により収穫量が減少した。また、11月1日の強風により果実が落果する被害が発生し、収穫量が減少した。

令和7年産なしの発芽期、開花期、満開期、落花期は、平年と比べると1日から6日程度早くなった。幸水の開花は平年より1日から4日早く、満開期も4日から5日程度早かった（宮城県農業・園芸総合研究所）。被害状況については、一部園地で虫害（ナシミハバチ、ハダニ）が発生し、収穫量が減少した。また、7月から8月にかけての少雨により、一部園地で干害が発生し小玉果が多くなり収穫量が減少した。

(支払) 令和7年産

果樹区分		支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／共済 金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
りんご	半相殺減収 総合一般		円	円	円	円	円	円	%
	半相殺減収 総合短縮	2月18日	1,271,760						
	小計		1,271,760						
なし	半相殺減収 総合一般		0						
	半相殺減収 総合短縮	12月10日	635,890						
	小計		635,890						
合計			1,907,650	0	1,907,650	0	0	0	100

(4) 畑作物共済関係

(引受) 令和7年産

区分	項目	組合員数	引受面積等	共済金額
ばれいしょ	全相殺	人 4	a 1,958	円 16,210,183
	計	4	1,958	16,210,183
大豆	半相殺	12	8,519	15,662,002
	全相殺	241	432,347	1,600,078,347
	計	253	440,866	1,615,740,349
そば	全相殺	7	6,982	3,289,356
	インデックス	2	836	217,683
	計	9	7,818	3,507,039
蚕繭	春蚕繭	人 0	箱 0.00	円 0
	初秋蚕繭	0	0.00	0
	晩秋蚕繭	0	0.00	0
	計	延 実 0 0	0.00	0
計		266 264		1,635,457,571

区分	項目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
ばれいしょ	全相殺	円 735,328	円	円
	計	735,328		
小計		735,328	159,908	895,236
大豆	半相殺	719,469		
	全相殺	46,429,195		
	計	47,148,664		
そば	全相殺	116,282		
	インデックス	8,935		
	計	125,217		
蚕繭	春蚕繭	0		
	初秋蚕繭	0		
	晩秋蚕繭	0		
	計	0		
小計		47,273,881	38,660,266	85,934,147
計		48,009,209	38,820,174	86,829,383

大豆は3支所全てで引受を実施し、引受面積は収入保険への移行もあり前年産と比較し434ha減少し、4,409ha（前年産対比91.0%）となった。令和7年産の統計作付面積10,700haに対する引受率は41.2%（前年産41.7%）となった。また、共済金額は1,615,740千円となり前年産と比較し155,991千円減少した。

ばれいしょは1支所で引受を実施し、前年産と比較して引受戸数は2戸減少し、引受面積は4ha減少して20ha（前年産対比83.1%）となった。また、共済金額は1,864千円減少し、16,210千円となった。

そばは3支所全てで引受を実施し、前年産と比較して引受実戸数は2戸減少したが、引受面積は7ha増加して78ha（前年産対比110.0%）となった。また、共済金額は351千円増加し、3,507千円となった。

なお、蚕繭の引受はなかった。

(被害) 令和6年産

区分		項目	被害 組合員数	共済減収量	共済金	共済金/共済金額
			人	kg	円	%
ばれいしょ	全相殺		1	17,198	739,514	4.09
	計		1	17,198	739,514	4.09
大豆	半相殺		4	1,273	184,585	0.73
	全相殺		108	379,067	95,972,272	5.50
	計		112	380,340	96,156,857	5.43
そば	全相殺		7	5,073	791,388	27.09
	インデックス		0	0	0	0.00
	計		7	5,073	791,388	25.08
蚕繭	春蚕繭		0	0	0	0.00
	初秋蚕繭		0	0	0	0.00
	晩秋蚕繭		1	11	27,720	6.25
	計		1	11	27,720	2.70
計			121	402,622	97,715,479	-

(支払) 令和6年産

区分		項目	支 払 月 日 (確定日)	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 / 共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その 他	
				円	円	円	円	円	円	%
ばれいしょ	全相殺		令和7年 6月4日	739,514						
大豆	半相殺			184,585						
	全相殺			95,972,272						
そば	全相殺			791,388						
	インデックス			0						
蚕繭	春蚕繭			0						
	初秋蚕繭			0						
	晩秋蚕繭			27,720						
計				97,715,479	0	97,715,479	0	0	0	100

ばれいしょの植付けは、4月上旬にまとまった降雨の日があったものの、おおむね順調に行われた。植付け後の生育は、高温傾向で経過したことからおおむね順調に生育した。ただし、6月上旬、7月下旬にまとまった降雨があり、一部地域で雑草の発生が多くなった圃場や土壌が湿潤状態になり収穫作業が遅れた圃場が発生した。被害状況は、7月25日から26日にかけての大雨により圃場が浸水し、湿潤状態が続いたことで掘取り前の塊茎（イモ）が腐敗するなどの被害が発生し、収穫量が減少した。

大豆の播種は、6月上旬、7月上旬にまとまった降雨があったものの、おおむね順調に行われた。播種後は、6月中旬から下旬は降水量が少なかったが発芽揃いはおおむね良好であった。開花期以降は高温で経過し、8月中旬から下旬及び9月下旬にまとまった降雨があり、日照は8月下旬及び9月中旬から下旬は寡照となり、生育は平年並みから平年を上回る生育となったが、一部で倒伏する圃場もあった。収穫作業は、10月以降は高温、多照傾向で経過したためおおむね順調に行われた。被害状況は、8月中旬から下旬及び9月下旬の降雨により土壌湿潤害が発生し生育が阻害され、分枝数の減少等により着莢数が減少し収穫量が減少した。また、山間地域においては、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばの播種は、7月下旬のまとまった降雨により圃場が湿潤状態となり播種作業が停滞した圃場もあったが、8月上旬は好天により高温傾向で経過したことからおおむね適期に行われた。8月中旬から下旬にかけての周期的な降雨により土壌が湿潤状態となり生育が阻害された圃場が発生、また9月中旬から下旬及び10月中旬のまとまった降雨により倒伏する圃場や土壌が湿潤状態となり開花期以降収穫前の生育が阻害された圃場が発生した。収穫時期は高温多照で経過したことから、収穫作業はおおむね順調に行われた。被害状況は、開花期にあたる9月上旬の強雨により土壌湿潤害が発生、また収穫期前の9月下旬から10月上旬にかけての断続的な降雨により土壌湿潤害が発生し、収穫量が減少した。

蚕繭は、晩秋蚕繭の晩々秋蚕期において病害（膿病）により上簇できない蚕児が発生し、収繭量が減少した。

(参考：令和7年産 畑作物共済被害概況)

令和元年産から畑作物共済については、全ての畑作物の損害が確定した後に保険金の支払となることから、令和7年産の損害については、年度内に支払額の確定に至らず、仮渡しとして下記のとおり共済金を支払しております。

なお、仮渡しとしておりますが、支払金額に変更はありません。

区分 \ 項目		支払月日 (仮渡し月日)	被害組合員数	共済減収量	仮渡し共済金
			人	kg	円
ばれいしょ	全相殺	令和7年11月5日	2	222,893	9,584,399
大豆	半相殺	令和8年2月25日	5	15,968	2,331,328
	全相殺	令和8年4月8日	81	482,770	105,099,853
	計		86	498,738	107,431,181
そば	全相殺	令和8年2月25日	5	11,719	2,003,949
	インデックス		0	0	0
	計		5	11,719	2,003,949
蚕繭	春蚕繭		0	0	0
	初秋蚕繭		0	0	0
	晩秋蚕繭		0	0	0
	計		0	0	0

ばれいしょの植付けは、4月中旬にまとまった降雨の日があったものの、おおむね順調に行われた。植付け後の生育は、中耕培土期にあたる5月に降雨が多かったため、一部圃場では土壌湿潤害により初期生育不良となった圃場もあったが、おおむね順調に生育した。ただし、7月から8月の極端な少雨の影響によって塊茎（イモ）の肥大が抑制された圃場もあった。

被害状況は、5月31日の大雨により一部地域で圃場が冠水し、塊茎（イモ）の腐敗や肥大が抑制されたことによって収穫量が減少した。

大豆の播種は、6月上旬以降降雨が少なく、おおむね順調に行われた。初期生育から開花期にかけては高温・多照・少雨で経過し、乾燥が強い圃場では生育が抑制され、草丈が短く分枝数が減少した。収穫初期の11月上旬にまとまった降雨の影響で、一部地域で収穫作業が遅れた圃場もあったが、その後はおおむね順調に収穫作業が行われた。

被害状況は、9月上旬から11月上旬にかけての降雨により土壌湿潤害が発生し、生育が阻害され、着莢数の減少や小粒化により収穫量が減少した。また、6月下旬から7月下旬にかけての高温・少雨により生育不良となり、分枝数が減少する圃場や晩播栽培を中心に発芽揃いの悪い圃場が発生し、収穫量が減少した。山間地域においては、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばの播種は、7月下旬以降も高温・少雨で経過したことから、おおむね順調に行われた。開花期の9月上旬から降雨の日が多く、土壌湿潤状態が続いた。また、降雨の影響で刈取作業が遅れた圃場もあった。

被害状況は、9月上旬から11月上旬にかけて降雨の日が多く、特に9月、10月の降水量が多かったため土壌湿潤害が発生し、収穫量が減少した。

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

区分 \ 項 目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額
	人	棟	㎡	円	円
ガラスⅡ類	17	27	30,401	411,761,898	329,409,515
プラスチックⅠ類	0	0	0	0	0
プラスチックⅡ類	8,145	16,270	2,330,517	7,627,348,941	6,082,625,293
プラスチックⅢ類	24	34	68,337	485,527,758	345,646,409
プラスチックⅣ類(甲)	147	190	157,633	1,846,988,865	1,463,041,857
プラスチックⅣ類(乙)	159	258	330,280	3,657,060,810	2,861,098,700
プラスチックⅤ類	17	21	11,745	144,871,384	115,897,096
プラスチックⅥ類	8	10	4,010	13,097,133	8,875,345
計	8,517	16,810	2,932,923	14,186,656,789	11,206,594,215

区分 \ 項 目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
	円	円	円
ガラスⅡ類	1,486,539	528,537	2,015,076
プラスチックⅠ類	0	0	0
プラスチックⅡ類	63,946,472	37,009,404	100,955,876
プラスチックⅢ類	3,296,204	996,661	4,292,865
プラスチックⅣ類(甲)	7,035,932	3,090,215	10,126,147
プラスチックⅣ類(乙)	8,982,730	5,612,028	14,594,758
プラスチックⅤ類	353,843	253,912	607,755
プラスチックⅥ類	218,988	191,825	410,813
計	85,320,708	47,682,582	133,003,290

国の補助事業等で導入された大型施設等に対し園芸施設共済の制度内容を丁寧に説明するなど加入推進を積極的に実施したが、水稻作付けの委託等による育苗ハウス等有資格棟数の減少、過去の災害による危険段階区分の上昇による掛金負担の増加のため継続加入農家が減少し、前年度引受実績に対し棟数で998棟減少した。ただし、共済金額では134,944千円増加した。

(被害)

項目 区分	被害 組合 員数	被害 棟数	損害の額	共済金							共済金 ／ 共済金 額
				特定 園芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用	付保割合 追加特約	合計	
	人	棟	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラスⅡ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅠ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅡ類	610	781	45,331,687	35,221,526	333,680	176,576	0	112,420	12,891	35,857,093	0.59
プラスチックⅢ類	1	1	312,082	249,665	0	0	0	0	0	249,665	0.07
プラスチックⅣ類(甲)	6	7	763,692	352,980	0	257,970	0	0	0	610,950	0.04
プラスチックⅣ類(乙)	5	5	1,451,188	667,838	264,000	0	0	0	0	931,838	0.03
プラスチックⅤ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅥ類	1	1	68,655	54,924	0	0	0	0	0	54,924	0.62
過年度分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
計	623	795	47,927,304	36,546,933	597,680	434,546	0	112,420	12,891	37,704,470	0.34

共済事故の主なものとしては、４月（４月14日、16日）及び１月から３月（１月20、２月19日、３月７日ほか）に低気圧の通過に伴う強風による本体及び被覆物の被害が発生し、共済金を支払した。

(支払)

実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
37,704,470	1,431,987	36,272,483	0	0	0	100

（６）任意共済関係

１ 建物共済関係

（引受）

項目 区分	加入棟数	共済金額	共済掛金	
			純共済掛金	賦課金
	棟	円	円	円
火 災 共 済	79,804	965,707,430,000	523,773,239	427,462,174
総 合 共 済	17,505	175,587,710,000	384,528,902	107,881,154
計	97,309	1,141,295,140,000	908,302,141	535,343,328

項目 区分	１棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
	円	円	円
火 災 共 済	12,100,990	285,003,976	115,208,234
総 合 共 済	10,030,718	209,404,716	32,434,708
計 又 は 平 均	11,728,567	494,408,692	147,642,942

（注）総共済掛金額1,443,645,469円、任意保険料割合 地震等50％・地震等以外30％、保険料手数料割合 火災共済40.45％・総合共済16.90％

共済資源の減少や他保険への移行が影響し、引受棟数 97,309棟、共済金額 1兆1,412億9,514万円となり、前年度に対して棟数 2,340棟、共済金額 281億6,904万円減少した。

内訳は、火災共済で263億5,624万円減（前年対比97.3％）、総合共済で18億1,280万円減（前年対比99.0％）であった。

（事故）

事故棟数	加入総共済金額 （イ）	支払共済金（ロ）		任意保険金	被害率 （ロ） / （イ）
		火災	風水害等		
棟	円	円	円	円	％
560	6,889,750,000	238,691,912	114,326,995	106,520,870	5.12

令和 7 年度の事故は、棟数560棟、支払共済金3億5,302万円で、前年度に対して棟数 157棟、支払共済金は1,797万円増加した。

内訳は、火災事故等で支払共済金が2,762万円が減少したものの、風水害等では4,559万円が増加、増加した要因は強風による支払いが前年度より170棟、5,460万円増加したため。

(建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数		加入総 共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
	棟	内家具 類等 棟				
風水害等	250		円 2,684,950,000	円 66,523,252	円 19,956,862	% 2.48
落雷	91	29	1,408,150,000	14,362,799	4,308,795	1.02
建物外部からの物体の衝突等	76		918,800,000	12,487,990	3,746,365	1.36
雪害	53		619,750,000	11,143,122	3,342,914	1.80
火災	20	13	280,700,000	214,426,947	64,328,074	76.39
水道管凍結	18		253,000,000	1,181,575	354,471	0.47
類焼	14		93,000,000	24,264,965	7,279,485	26.09
給排水設備の事故による水ぬれ	13		267,500,000	3,258,268	977,476	1.22
地震等	10		128,000,000	3,077,199	1,538,598	2.40
盗難による汚毀損	8	1	123,600,000	452,291	135,683	0.37
建物内部の車両衝突	5		72,300,000	1,589,978	476,992	2.20
車両の飛び込み	2		40,000,000	250,521	75,155	0.63
計	560	43	6,889,750,000	353,018,907	106,520,870	5.12

2 農機具共済関係

(引受)

項目 区分	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	円	円	円	円
火 災 共 済	20,266	45,525,960,000	23,037,842	16,635,276	2,246,421
総 合 共 済	16,079	58,463,700,000	178,298,402	132,509,629	3,636,028
計 又 は 平 均	36,345	103,989,660,000	201,336,244	149,144,905	2,861,182

新規導入農機具や未加入農機具の加入推進を行い、引受台数 36,345台、共済金額 1,039億8,966万円となり、前年度に対して台数 570台、共済金額 40億429万円増加した。

(事故)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)
	台	円	円	%
接触	239	1,391,090,000	46,861,519	3.37
作業機との接触・衝突による事故	32	153,360,000	2,890,941	1.89
転覆	18	96,840,000	17,173,593	17.73
自機または接続した作業機からの物体の落下・飛来	14	80,730,000	1,733,112	2.15
自然災害・突風	14	77,870,000	1,727,967	2.22
道路の段差を乗り越えるとき等の衝撃による事故	10	47,930,000	2,007,798	4.19
収穫物等の詰まりによる事故	9	57,850,000	1,274,432	2.20
異物の巻込み	9	46,560,000	1,097,139	2.36
ほ場等から引き揚げられる時のけん引による事故	8	46,350,000	1,425,319	3.08
物体の落下及び飛来	7	38,570,000	1,469,519	3.81
鳥獣害	4	33,540,000	899,487	2.68
火災	4	18,690,000	9,159,021	49.00
墜落	3	15,040,000	653,980	4.35
衝突	2	21,890,000	522,146	2.39
第三者行為による不可抗力の毀損	1	6,010,000	55,668	0.93
計	374	2,132,320,000	88,951,641	4.17

令和7年度の事故は、台数 374台、支払共済金 8,895万円で、前年度に対して、45台減少、支払共済金は151万円減少した。

(7) 農機具更新共済関係

(引受)

加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
			純共済掛金		賦課金
			災害部分	減価部分	
台 9	円 42,750,000	円 30,000,000	円 118,365	円 4,572,600	円 129,790

引受台数 9台、共済金額 4,275万円で、前年度に対して1台、共済金額 893万円減少した。

(事故)

事故台数	期間満了 台数	加入総共済金額		支払共済金		被害率 (ロ) / (イ)
			内事故部分 (イ)	(ロ)	期間満了 によるもの	
台 0	台 1	円 8,930,000	円 0	円 0	円 5,000,000	% 0.00

令和7年度に期間満了となった1台に、満期共済金として500万円を支払った。また、事故はなかった。

(8) 保管中農産物補償共済関係

(引受)

内訳	加入口数	共済金額	共済掛金等		保険料等
			純共済掛金	賦課金	
Aタイプ	口 103	円 103,000,000	円 180,250	円 77,250	円 191,786
Bタイプ	31	31,000,000	141,050	60,450	150,102
計	134	134,000,000	321,300	137,700	341,888

(事故)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
件 0	円 0	円 0	円 0	% -

(9) 農業経営収入保険関係

(引受)

加入経営体数			基準収入金額
個人	法人	計	
人	人	人	円
3,484	384	3,868	45,362,345,660

※基準収入金額は令和8年3月末時点の金額。

(事故)

内訳	支払件数	支払保険金等
	人	円
個人	139	163,756,204
法人	39	104,542,216
計	178	268,298,420

※令和7年4月1日から令和8年3月31日にNOSAI全国連から加入者に支払われた分。

猛暑・豪雨・長雨等の気象災害、イノシシ等の獣害、病虫害による品質低下、収穫量の減少など。

(つなぎ融資)

内訳	貸付件数	貸付金額
	人	円
個人	8	8,010,000
法人	2	2,600,000
計	10	10,610,000

※令和7年4月1日から令和8年3月31日にN O S A I 全国連から加入者に融資された分。

支 所 別 明 細

(10) 支所別明細

項目 区分		支所名	引受（加入）									
			計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比	
			引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額
農作物	水稲	県南	ha 4,480	千円 3,225,600	ha 4,437	千円 3,277,828	ha 4,864	千円 3,540,575	% 99.0	% 101.6	% 91.2	% 92.6
		中央	13,940	9,855,198	13,939	10,378,807	14,373	10,304,298	100.0	105.3	97.0	100.7
		県北	13,360	10,011,110	13,828	10,865,356	14,187	11,008,344	103.5	108.5	97.5	98.7
		小計	31,780	23,091,908	32,205	24,521,991	33,424	24,853,217	101.3	106.2	96.4	98.7
	麦	県南	32	2,460	32	2,625	32	2,460	100.0	106.7	100.0	106.7
		中央	548	219,523	460	186,688	552	220,766	83.9	85.0	83.3	84.6
		県北	480	48,143	411	43,453	527	53,158	85.6	90.3	78.0	81.7
		小計	1,060	270,126	902	232,766	1,111	276,385	85.1	86.2	81.2	84.2
果樹	りんご	県南	a 667	千円 19,846	a 498	千円 14,387	a 667	千円 19,846	% 74.7	% 72.5	% 74.7	% 72.5
		中央	195	4,558	191	4,261	195	4,558	97.9	93.5	97.9	93.5
		県北	178	5,603	184	5,778	178	5,603	103.4	103.1	103.4	103.1
		小計	1,039	30,007	873	24,426	1,039	30,007	84.0	81.4	84.0	81.4
	なし	県南	1,353	63,089	1,197	58,913	1,353	63,089	88.5	93.4	88.5	93.4
		中央	374	21,979	347	21,047	374	21,979	92.8	95.8	92.8	95.8
		県北	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		小計	1,726	85,068	1,544	79,960	1,726	85,068	89.5	94.0	89.5	94.0

項目 区分		支所名	被害又は事故				
			本年度		前年度		比較
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
農作物	水稲		kg	円	kg	円	%
		県 南	31,567	5,909,945	34,710	6,632,583	89.1
		中 央	224,260	40,398,276	123,249	21,464,223	188.2
		県 北	88,888	16,026,288	35,453	6,989,774	229.3
		小 計	344,715	62,334,509	193,412	35,086,580	177.7
	麦	県 南		79,676		18,229	437.1
		中 央		10,610,411		12,308,207	86.2
		県 北		3,442,008		3,255,942	105.7
		小 計		14,132,095		15,582,378	90.7
果樹	りんご		kg	円	kg	円	%
		県 南	4,151	331,440	2,910	87,090	380.6
		中 央	6,148	884,530	3,129	225,890	391.6
		県 北	1,108	55,790	0	0	—
		小 計	11,407	1,271,760	6,039	312,980	406.3
	なし	県 南	2,941	222,950	5,648	457,690	48.7
		中 央	3,174	412,940	1,557	111,210	371.3
		県 北	0	0	0	0	—
		小 計	6,115	635,890	7,205	568,900	111.8

項目 区分		支所名	引受（加入）									
			計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比	
			引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額
畑作物	大豆	県南	ha 331	千円 68,334	ha 327	千円 69,228	ha 368	千円 74,316	% 98.8	% 101.3	% 88.9	% 93.2
		中央	2,459	974,428	2,482	928,099	2,647	1,050,040	100.9	95.2	93.8	88.4
		県北	1,735	615,000	1,600	618,413	1,827	647,375	92.2	100.6	87.6	95.5
		小計	4,525	1,657,762	4,409	1,615,740	4,843	1,771,731	97.4	97.5	91.0	91.2
	ばれいしょ	県南	ha 0	千円 0	ha 0	千円 0	ha 0	千円 0	% —	% —	% —	% —
		中央	21	15,870	20	16,210	24	18,074	95.2	102.1	83.3	89.7
		県北	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		小計	21	15,870	20	16,210	24	18,074	95.2	102.1	83.1	89.7
	そば	県南	ha 9	千円 355	ha 9	千円 315	ha 13	千円 473	% 90.7	% 88.8	% 68.0	% 66.6
		中央	17	822	20	930	18	878	117.9	113.1	109.0	105.9
		県北	38	1,714	50	2,262	40	1,805	130.4	132.0	122.9	125.3
		小計	64	2,891	78	3,507	71	3,156	121.3	121.3	109.7	111.1
	蚕繭	県南	箱 0.00	千円 0	箱 0.00	千円 0	箱 4.60	千円 262	% —	% —	% —	% —
		中央	0.00	0	0.00	0	0.00	0	—	—	—	—
		県北	0.00	0	0.00	0	10.00	766	—	—	—	—
		小計	0.00	0	0.00	0	14.60	1,028	—	—	—	—

区分	項目	支所名	被害又は事故				
			本年度		前年度		比較
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
畑作物	大豆	県 南	kg 17,171	円 3,052,646	kg 50,822	円 7,671,885	% 39.8
		中 央	257,575	69,530,205	342,740	62,306,732	111.6
		県 北	105,594	23,574,006	154,688	33,960,995	69.4
		小 計	380,340	96,156,857	548,250	103,939,612	92.5
	ばれいしょ	県 南	kg 0	円 0	kg 0	円 0	% —
		中 央	17,198	739,514	50,092	2,153,956	34.3
		県 北	0	0	0	0	—
		小 計	17,198	739,514	50,092	2,153,956	34.3
	そば	県 南	kg 443	円 69,108	kg 580	円 82,360	% 83.9
		中 央	1,767	275,652	951	139,760	197.2
		県 北	2,863	446,628	4,573	649,366	68.8
		小 計	5,073	791,388	6,104	871,486	90.8
	蚕繭	県 南	kg 0	円 0	kg 0	円 0	% —
		中 央	0	0	0	0	—
		県 北	11	27,720	0	0	—
		小 計	11	27,720	0	0	—

項目 区分		支所名	引受（加入）									
			計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比	
			引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額
園芸施設			棟	千円	棟	千円	棟	千円	%	%	%	%
		県 南	5,009	3,857,326	4,856	3,747,382	5,154	3,929,507	96.9	97.1	94.2	95.4
		中 央	6,544	3,181,191	6,326	3,426,565	6,613	3,275,863	96.7	107.7	95.7	104.6
		県 北	5,409	3,465,237	5,628	4,032,648	6,041	3,866,281	104.0	116.4	93.2	104.3
		小 計	16,962	10,503,755	16,810	11,206,594	17,808	11,071,650	99.1	106.7	94.4	101.2
任 意	建 物		棟	千円	棟	千円	棟	千円	%	%	%	%
		県 南	28,095	342,999,370	28,521	348,129,510	29,243	357,006,510	101.5	101.5	97.5	97.5
		中 央	32,002	378,151,810	32,532	383,676,260	33,514	395,892,260	101.7	101.5	97.1	96.9
		県 北	35,499	400,907,190	36,256	409,489,370	36,892	416,565,410	102.1	102.1	98.3	98.3
		小 計	95,596	1,122,058,370	97,309	1,141,295,140	99,649	1,169,464,180	101.8	101.7	97.7	97.6
	農 機 具		台	千円	台	千円	台	千円	%	%	%	%
		県 南	8,904	22,839,820	9,134	24,572,420	8,633	22,929,140	102.6	107.6	105.8	107.2
		中 央	14,271	40,971,660	14,296	42,091,180	14,229	40,910,490	100.2	102.7	100.5	102.9
		県 北	12,962	36,272,560	12,924	37,368,810	12,923	36,197,420	99.7	103.0	100.0	103.2
		小 計	36,137	100,084,040	36,354	104,032,410	35,785	100,037,050	100.6	103.9	101.6	104.0
	保管中農産物補償		口	千円	口	千円	口	千円	%	%	%	%
		県 南	13	13,000	11	11,000	13	13,000	84.6	84.6	84.6	84.6
		中 央	53	53,000	74	74,000	53	53,000	139.6	139.6	139.6	139.6
		県 北	53	53,000	49	49,000	53	53,000	92.5	92.5	92.5	92.5
		小 計	119	119,000	134	134,000	119	119,000	112.6	112.6	112.6	112.6

区分	項目	支所名	被害又は事故				
			本年度		前年度		比較
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
園芸施設			棟	円	棟	円	%
		県 南	187	9,037,909	582	33,671,890	26.8
		中 央	339	13,101,964	609	27,363,286	47.9
		県 北	269	15,564,597	493	23,896,429	65.1
		小 計	795	37,704,470	1,684	84,931,605	44.4
任 意	建 物		棟	円	棟	円	%
		県 南	157	139,670,187	116	85,548,349	163.3
		中 央	229	117,829,740	151	66,375,539	177.5
		県 北	174	95,518,980	136	183,123,972	52.2
		小 計	560	353,018,907	403	335,047,860	105.4
	農 機 具		台	円	台	円	%
		県 南	95	26,208,401	116	29,456,472	89.0
		中 央	162	31,156,106	165	35,745,583	87.2
		県 北	117	31,587,134	139	25,831,952	122.3
		小 計	374	88,951,641	420	91,034,007	97.7
	保管中農産物補償		kg	円	kg	円	%
		県 南	0	0	0	0	—
		中 央	0	0	0	0	—
		県 北	0	0	0	0	—
		小 計	0	0	0	0	—

項目 区分		支所名	引受（加入）									
			計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比	
			引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額
家畜	死亡廃用	県南	頭 33,878	千円 10,914,573	頭 36,476	千円 10,630,803	頭 35,626	千円 11,222,171	% 107.7	% 97.4	% 102.4	% 94.7
		中央	36,900	11,161,757	36,736	11,015,695	38,769	11,580,811	99.6	98.7	94.8	95.1
		県北	67,427	29,352,977	67,042	28,060,543	70,233	30,639,417	99.4	95.6	95.5	91.6
		小計	138,205	51,429,307	140,254	49,707,041	144,628	53,442,399	101.5	96.7	97.0	93.0
	疾病傷害	県南	頭 8,433	千円 248,169	頭 8,436	千円 259,549	頭 8,754	千円 249,780	% 100.0	% 104.6	% 96.4	% 103.9
		中央	19,300	606,278	19,799	627,772	20,313	629,448	102.6	103.5	97.5	99.7
		県北	26,338	767,935	26,724	768,967	28,355	806,469	101.5	100.1	94.2	95.3
		小計	54,071	1,622,382	54,959	1,656,288	57,422	1,685,697	101.6	102.1	95.7	98.3
	家畜計	県南	頭 42,311	千円 11,162,742	頭 44,912	千円 10,890,352	頭 44,380	千円 11,471,951	% 106.1	% 97.6	% 101.2	% 94.9
		中央	56,200	11,768,035	56,535	11,643,467	59,082	12,210,259	100.6	98.9	95.7	95.4
		県北	93,765	30,120,912	93,766	28,829,510	98,588	31,445,886	100.0	95.7	95.1	91.7
		小計	192,276	53,051,689	195,213	51,363,329	202,050	55,128,096	101.5	96.8	96.6	93.2
支所計	県南			384,251,942		390,773,960		399,051,128		101.7		97.9
	中央			445,218,075		452,447,514		463,962,465		101.6		97.5
	県北			481,500,469		491,304,601		499,845,049		102.0		98.3
	合計			1,310,970,487		1,334,526,074		1,362,858,642		101.8		97.9

（備考）計画については、第20回通常総代会で承認されたものを支所毎に表示している。

端数処理の関係で合計が必ずしも一致しない。

区分	項目	支所名	被害又は事故				
			本年度		前年度		比較
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
家畜	死亡 廃用	県 南	頭 748	円 112,161,849	頭 872	円 131,443,653	85.3
		中 央	1,486	211,527,683	1,831	246,251,051	85.9
		県 北	1,570	269,375,365	1,727	310,995,305	86.6
		小 計	3,804	593,064,897	4,430	688,690,009	86.1
	疾病 傷害	県 南	件 5,589	円 92,734,205	件 5,589	円 92,401,348	100.4
		中 央	13,469	187,267,771	14,042	191,186,176	98.0
		県 北	20,228	278,874,818	21,110	296,609,222	94.0
		小 計	39,286	558,876,794	40,741	580,196,746	96.3
	家畜計	県 南		円 204,896,054		円 223,845,001	91.5
		中 央		398,795,454		437,437,227	91.2
		県 北		548,250,183		607,604,527	90.2
		小 計		1,151,941,691		1,268,886,755	90.8
支所計	県 南			389,478,316		387,471,549	100.5
	中 央			683,734,792		665,631,613	102.7
	県 北			734,493,334		885,312,957	83.0
	合 計			1,807,706,442		1,938,416,119	93.3

(11) 業務関係

ア 重要な処理事項

年月日	処 理 事 項
7 4. 08	新規採用職員研修会（11日まで）（富谷市）
7 4. 11	第1回任意共済事業推進担当国会議（テレビ会議）
7 4. 14	役員推薦会議（大崎市三本木）
7 4. 14	新規採用獣医師職員研修会（7月14日まで）（大衡村）
7 4. 16	農産課長・担当国会議（テレビ会議）
7 4. 17	北海道・東北地区参事会議（福島県）（18日まで）
7 4. 17	定時（決算）監査（5月16日まで）
7 4. 22	農機具共済システム年次更新研修会（23日まで）
7 4. 23	全国広報参事等会議（テレビ会議）
7 4. 24	第1回広報委員会（テレビ会議）
7 4. 25	新規採用職員Excel研修（テレビ会議）
7 4. 25	家畜診療センター等所長会議
7 4. 28	業務会議
7 4. 30	第1回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
7 5. 01	三役会議
7 5. 01	収入保険課長・担当国会議
7 5. 08	令和7年度事務費賦課承認事前協議・団体運営状況ヒアリング（宮城県）
7 5. 09	第1回理事会
7 5. 16	全国連主催農業経営収入保険事業初任者研修会・初任者管理職研修会（テレビ会議）
7 5. 19	全国協会主催農機具共済専門講習会（制度）（東京都）（23日まで）
7 5. 20	北海道・東北地区組合長会議（山形県）（21日まで）
7 5. 20	第4回業務改善検討委員会（テレビ会議）
7 5. 20	果樹園芸課長・担当国会議
7 5. 21	定時（決算）監査講評（テレビ会議）
7 5. 22	事業等別（農作物共済・畑作物共済）職員研修会（テレビ会議）
7 5. 23	第2回理事会
7 5. 23	第20回通常総代会
7 5. 26	第1回コンプライアンス改善委員会
7 5. 26	情報セキュリティ委員会
7 5. 26	業務会議
7 5. 26	全国協会主催中間指導職養成研修会（東京都）（30日まで）
7 5. 26	損害評価会委員・損害評価員代表者会議
7 5. 28	情報処理担当国会議（テレビ会議）
7 5. 28	損害評価会畑作物共済部会（大豆全相殺、そば地域インデックス・全相殺）（テレビ会議）
7 5. 29	新役員協議会
7 5. 29	家畜課長・班長・担当国会議
7 6. 02	第1回監事会
7 6. 02	第3回理事会
7 6. 02	全国協会主催普及推進研修会（基礎コース）（東京都）（6日まで）
7 6. 06	家畜共済事故対策協議会（仙台市）
7 6. 10	家畜診療センター等所長会議
7 6. 11	職員採用一次試験（大卒等）
7 6. 11	建物農機具課長・担当国会議
7 6. 16	全国協会主催第1回普及推進研修会（実践コース）（東京都）（20日まで）

年月日	処 理 事 項
7 6.20	職員採用二次試験（大卒等）
7 6.20	第1回農家訪問支援システム導入検討P T
7 6.24	支所広報委員基礎研修会
7 6.24	宮城県農業保険推進協議会通常総会（仙台市）
7 6.25	第1回全国特定組合長・会長会議（東京都）
7 6.25	第151回全国協会通常総会・第31回全国連通常総会
7 6.26	事業等別（収入保険）職員研修会（テレビ会議）
7 6.26	農水省主催家畜共済研修会（テレビ会議）（27日まで）
7 6.27	業務会議（大崎市古川）
7 7.01	全国協会主催第1回管理職研修会（東京都）（4日まで）
7 7.01	支所広報委員基礎研修会（カメラ研修）
7 7.01	職員採用試験（獣医職）
7 7.03	改善状況確認調査（18日まで）
7 7.04	第2回監事会及び研修会（角田市）
7 7.07	農機具共済損害評価員会議並びに損害評価研修会（東松島市）
7 7.09	第1回全国参事会議（東京都）
7 7.10	園芸施設共済・建物共済自然災害損害評価研修会（テレビ会議）（11日まで）
7 7.10	北海道・東北地区果樹共済担当者会議（岩手県）
7 7.11	第2回農家訪問支援システム導入検討P T
7 7.15	農水省主催果樹共済研修会（テレビ会議）
7 7.16	第5回業務改善検討委員会（大衡村）
7 7.16	公式L I N E 導入運用検討会（大衡村）
7 7.17	事業等別（園芸施設共済）職員研修会（テレビ会議）
7 7.18	事業等別（総務・人事・経理）職員研修会（テレビ会議）
7 7.29	青色申告説明会（県南支所）
7 7.22	第1回役員協議会（大衡村）
7 7.22	第1回N O S A I 情報化全国会議（東京都）
7 7.23	令和7年度家畜診療等技術体験発表会並びに研修会（24日まで）
7 7.24	第3回農家訪問支援システム導入検討P T
7 7.24	北海道・東北地区畑作物共済担当者会議（秋田県）
7 7.24	東北地区任意共済担当者会議（青森県）
7 7.25	業務会議（大衡村）
7 7.28	宮城県常例検査（8月5日まで）
7 7.29	全国連主催収入保険担当者研修会（テレビ会議）
7 7.29	令和7年度青色申告説明会（県南支所）
7 7.29	家畜診療センター等所長会議
7 7.29	第2回任意共済事業推進担当者会議（東京都）
7 7.30	第2回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
7 7.31	北海道・東北地区農作物共済担当者会議（仙台市）
7 8.01	上半期自主点検（18日まで）
7 8.01	三役会議
7 8.03	収入保険説明会・加入申請受付会（県南支所）
7 8.06	建物共済損害評価研修会（テレビ会議）
7 8.07	農産課長・担当者会議（テレビ会議）
7 8.08	宮城県常例検査講評（大崎市古川）
7 8.08	第4回理事会（大崎市古川）

年月日	処 理 事 項
7 8.08	役員研修会（大崎市古川）
7 8.17	収入保険説明会・加入申請受付会（県北支所）
7 8.20	N O S A I 栃木視察研修
7 8.20	農作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
7 8.21	人事考課者研修会（テレビ会議）
7 8.21	東北地区建物共済広域災害損害評価相互支援に係る研修会（青森県）（22日まで）
7 8.22	第2回広報委員会（テレビ会議）
7 8.24	収入保険説明会・加入申請受付会（中央支所）
7 8.25	第2回コンプライアンス改善委員会（大衡村）
7 8.25	業務会議（大衡村）
7 8.25	全国共済主催第2回広報技術研修会（東京都）（29日まで）
7 8.25	全国共済主催建物共済損害評価技術研修会（千葉県）（29日まで）
7 8.26	第1回農業共済新聞東北版及び東北営農技術版編集会議（山形県）（27日まで）
7 8.27	「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議（テレビ会議）
7 8.27	情報処理担当者会議（テレビ会議）
7 8.27	第4回農家訪問支援システム導入検討P T
7 8.28	北海道・東北地区園芸施設共済担当者会議（秋田県）
7 9.01	農業保険意見交換会及び農業共済団体状況ヒアリング（テレビ会議）
7 9.02	家畜診療センター等所長会議
7 9.03	第2回全国特定組合長・会長会議（東京都）
7 9.08	役職定年・再雇用職員研修会（大衡村）
7 9.08	全国協会主催第1回幹部職員研修会（東京都）（10日まで）
7 9.09	建物農機具課長・担当者会議（テレビ会議）
7 9.11	北海道・東北地区監査室担当者会議（青森県）（12日まで）
7 9.19	農水省・全国連合同主催第1回収入保険W E B会議
7 9.24	全国連主催収入保険初任者研修会（東京都）（26日まで）
7 9.25	業務会議
7 9.26	畑作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
7 9.30	全国協会主催第2回管理職研修会（東京都）（10月3日まで）
7 10.01	上半期内部監査（21日まで）
7 10.03	第3回広報委員会（テレビ会議）
7 10.06	全国協会主催第2回普及推進研修会（実践コース）（東京都）（10日まで）
7 10.08	第2回全国参事会議（東京都）
7 10.10	事業等別（家畜共済）研修会（テレビ会議）
7 10.15	家畜診療等技術東北地区発表会・研修会（仙台市）（16日まで）
7 10.15	第6回業務改善検討委員会（テレビ会議）
7 10.16	北海道・東北地区総務経理担当者会議（秋田県）（17日まで）
7 10.16	北海道・東北地区収入保険担当者会議（北海道）（17日まで）
7 10.16	北海道・東北地区家畜共済協議会（岩手県）（17日まで）
7 10.20	全国協会主催第2回管理職養成研修会（東京都）（31日まで）
7 10.23	第3回監事会
7 10.23	三役会議
7 10.23	任意共済全国研修会（東京都）
7 10.27	業務会議
7 10.28	第3回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
7 10.29	家畜診療センター等所長会議

年月日	処 理 事 項
7 10.30	第5回理事会並びに第2回役員協議会
7 10.30	全国連主催収入保険実務担当者WEB会議（テレビ会議）
7 10.30	農業簿記研修会（一部テレビ会議）（31日まで）
7 11.04	コンプライアンス研修会（一般職）（テレビ会議）（5日まで）
7 11.06	定時（中間）監査（25日まで）
7 11.07	農水省主催法令等研修会（テレビ会議）
7 11.07	農水省主催園芸施設共済研修会（テレビ会議）
7 11.09	収入保険説明会及び加入申請受付会（県南支所）
7 11.10	全国協会主催第2回幹部職員研修会（東京都）（12日まで）
7 11.11	内定者懇談会（一般職）
7 11.12	コンプライアンス研修会（管理職）（テレビ会議）
7 11.12	第2回農業者情報管理システム活用検討PT会議（テレビ会議）
7 11.13	内定者懇談会（獣医職）
7 11.14	総務（給与）担当者研修会（テレビ会議）
7 11.16	収入保険説明会及び加入申請受付会（中央支所）
7 11.17	事業等別（果樹共済）職員研修会（テレビ会議）
7 11.19	コンプライアンス研修会（管理職）（テレビ会議）
7 11.19	収入保険説明会及び加入申請受付会（県北支所）（20日まで）
7 11.23	農業簿記検定試験
7 11.25	第3回コンプライアンス改善委員会（一部テレビ会議）
7 11.25	第2回情報セキュリティ委員会（一部テレビ会議）
7 11.25	業務会議
7 11.26	「未来へつなぐ」サポート運動全国NOSA I大会（東京都）（27日まで）
7 11.26	第3回農業者情報管理システム活用検討PT会議（テレビ会議）
7 11.26	収入保険課長WEB会議（テレビ会議）
7 11.28	三役会議
7 11.28	損害評価会果樹共済部会（なし）（テレビ会議）
7 12.01	全国協会主催建物共済専門講習会（東京都）（5日まで）
7 12.02	定時（中間）監査講評（テレビ会議）
7 12.02	損害評価会農作物共済（水稻）部会（テレビ会議）
7 12.04	建物共済年次更新システム操作研修会（テレビ会議）
7 12.05	第6回理事会並びに第3回役員協議会（登米市）
7 12.05	農水省主催経理研修会（テレビ会議）
7 12.11	第4回監事会
7 12.11	農機具共済年次更新システム操作研修会（12日まで）
7 12.17	総務課長会議（テレビ会議）
7 12.18	資格等級審査委員会
7 12.18	家畜診療センター等所長会議
7 12.19	損害評価会農作物共済（麦）部会（テレビ会議）
7 12.22	果樹園芸課長・担当者的会議（テレビ会議）
7 12.23	第4回広報委員会（テレビ会議）
7 12.23	農産課長・担当者的会議（テレビ会議）
7 12.24	情報処理担当者的会議（テレビ会議）
7 12.24	家畜課長・班長・担当者的会議
7 12.25	業務会議
7 12.26	第3回全国特定組合長・会長会議（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
8 1. 09	三役会議
8 1. 09	収入保険課長・班長会議
8 1. 09	農水省主催災害に備えた強い施設園芸推進会議（東北ブロック）（テレビ会議）
8 1. 19	全国協会主催管理職養成研修会（東京都）（30日まで）
8 1. 20	第7回業務改善検討委員会（テレビ会議）
8 1. 21	農水省主催収入保険WEB会議（テレビ会議）
8 1. 21	家畜共済に係る全国説明会（テレビ会議）
8 1. 22	収入保険支払事務研修会（テレビ会議）
8 1. 23	青色申告説明会（県南支所）
8 1. 22	建物農機具課長・担当者会議
8 1. 23	第5回広報委員会（テレビ会議）
8 1. 26	業務会議
8 1. 26	資格等級審査委員会
8 1. 28	青色申告説明会（中央支所）
8 1. 28	青色申告説明会（県北支所）（29日まで）
8 1. 29	第4回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
8 2. 02	下半期自主点検（18日まで）
8 2. 02	全国協会主催第3回普及推進研修会（実践コース）（東京都）（6日まで）
8 2. 02	農業共済新聞東北版及び東北営農技術版編集会議（テレビ会議）
8 2. 03	三役会議
8 2. 04	北海道・東北地区参事会議（福島市）（5日まで）
8 2. 04	電子カルテシステム協議会（テレビ会議）
8 2. 06	都道府県農業保険制度関係担当者及び農業共済組合等総務・指導担当者合同会議（テレビ会議）
8 2. 09	損害評価会果樹共済部会（りんご）（テレビ会議）
8 2. 09	家畜診療センター等所長会議
8 2. 10	損害評価会家畜共済部会
8 2. 10	家畜診療所運営委員会
8 2. 12	農業経営収入保険事業・審査担当職員研修会（東京都）（13日まで）
8 2. 13	第7回理事会並びに第4回役員協議会
8 2. 17	損害評価会畑作物共済部会（大豆半相殺・ばれいしょ全相殺）（テレビ会議）
8 2. 18	第3回全国参事会議（東京都）
8 2. 18	農林水産省主催農作物・畑作物共済研修会（テレビ会議）
8 2. 19	第5回監事会
8 2. 19	農業共済新聞全国研修会並びに全国広報委員会（東京都）（20日まで）
8 2. 20	指定獣医師等連絡会議（テレビ会議）
8 2. 25	NOSA I 懇話会（仙台市）
8 2. 26	第4回コンプライアンス改善委員会（テレビ会議）
8 2. 26	業務会議
8 2. 27	令和7年度畜産経営者セミナー（肉用牛）
8 3. 03	下半期内部監査（13日まで）
8 3. 03	三役会議
8 3. 03	全国連主催収入保険担当者WEB会議（テレビ会議）
8 3. 04	北海道・東北地区事務機械化担当者会議（テレビ会議）
8 3. 09	建物農機具課長・担当者会議（テレビ会議）
8 3. 10	第8回理事会並びに第5回役員協議会
8 3. 12	経理担当者会議（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
8 3.13	家畜課長・班長・担当国会議（テレビ会議）
8 3.17	情報処理担当課長・担当国会議（テレビ会議）
8 3.18	総務課長会議（テレビ会議）
8 3.18	事業等別（農機具共済）研修会（テレビ会議）
8 3.19	事業等別（建物共済）研修会（テレビ会議）
8 3.19	第3回任意共済事業推進担当国会議（テレビ会議）
8 3.23	三役会議
8 3.23	家畜共済新任者研修会（テレビ会議）
8 3.24	第21回臨時総代会（テレビ会議）
8 3.25	全国特定組合長等会議（東京都）
8 3.25	全国協会・全国連臨時総会（東京都）
8 3.26	第8回業務改善検討委員会（テレビ会議）
8 3.26	家畜診療センター等所長会議
8 3.27	業務会議
8 3.30	第9回理事会並びに第6回役員協議会

イ 総代会

(ア) 第20回通常総代会

(令和7年5月23日 大崎市三本木庁舎ふれあいホール)

総代会当日現在総代数	A	179 人	出席率
本人出席	B	124 人	B / A 69.3 %
代理出席		0 人	
書面出席		53 人	
出席者計	C	177 人	C / A 98.9 %

議事及び議決事項

- 1 事業規程の一部変更について
- 2 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案の承認について
- 3 令和7年度事業計画設定の承認について
- 4 令和7年度事務費の賦課額及び賦課方法の決定について
- 5 令和7年度役員、顧問弁護士及び共済部長の報酬額の決定について
- 6 令和7年度における借入金の最高限度額、借入利率及び償還方法の決定について
- 7 令和7年度余裕金預入先金融機関の承認について
- 8 役員の選任について
- 9 附帯決議

(イ) 第21回臨時総代会（テレビ会議）

(令和8年3月24日 宮城県農業共済組合本所会議室及び各支所会議室)

総代会当日現在総代数	A	178 人	出席率
本人出席	B	15 人	B / A 8.4 %
代理出席		0 人	
書面出席		161 人	
出席者計	C	176 人	C / A 98.9 %

議事及び議決事項

- 1 定款の一部変更について
- 2 事業規程の一部変更について
- 3 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
62,496 人	61,471 人	△ 1,025 人

エ 役職員その他

(ア) 役員

理事			監事	合計
常勤	非常勤	計		
人	人	人	人	人
1	15	16	3	19

(イ) 職員

	参事	支所 長	監査 室	総務	収入 保険	農作 物	畑作 物	果樹	園芸 施設	家畜	建物	農機 具	診療 セン ター	研修 所	計
男	人 1	人 3	人 2	人 23	人 25	人 20	人 11	人 5	人 9	人 35	人 18	人 16	人 18	人 0	人 186
女	0	0	0	16	5	3	2	4	5	7	7	5	14	3	71
計	1	3	2	39	30	23	13	9	14	42	25	21	32	3	257

※職員数には専門員、嘱託職員、臨時職員を含んでいません。

(職員の勤務場所別職員数)

	本所	県南 支所	中央 支所	県北 支所	県南 家畜 診療 セン ター	中央 家畜 診療 セン ター	県北 家畜 診療 セン ター	家畜 診療 研修 所	計
男	人 37	人 23	人 57	人 51	人 5	人 5	人 8	人 0	人 186
女	11	14	11	18	2	8	4	3	71
計	48	37	68	69	7	13	12	3	257

(ウ) 総代、共済部長、損害評価会委員、損害評価員

総代	共済部長	損害評価会委員	損害評価員	家畜診療所運営委員
人 178	人 3,402	人 566	人 3,385	人 5

(損害評価会委員、損害評価員の内訳：延人数)

	水稻	麦	家畜	果樹	畑作物	蚕繭	園芸 施設	任意
損害評価会委員	人 530	人 ※ 11	人 ※ 6	人 21	人 ※ 11	人 3	人 ※ 8	人 ※ 4
損害評価員	3,300	0	0	19	0	0	57	14

※各部会の構成人数